

令和元年度 第1回匝瑳市地域再生協議会 会議録

開催日時
令和元年7月29日(月) 13:30~15:30
開催場所
匝瑳市民ふれあいセンター 1階 第1会議室
出席者
太田市長 会長 宇井和夫 副会長 鎌形廣行 委員 井上峰夫、鈴木弘、大塚榮一、宇井野理男、宇野智弥、澤田浩 (事務局) 企画課：大木課長、江波戸主査、木内副主査

※委員については敬称略

会議内容
<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none">1 開 会2 委嘱書交付3 あいさつ4 自己紹介5 議 事<ol style="list-style-type: none">(1) 会長・副会長の指名について(2) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業計画(素案)及び策定スケジュールについて(3) その他6 閉 会 <p>【議事内容】</p> <p>(1) 会長・副会長の指名について 匝瑳市地域再生協議会要綱第4条第2項により、市長が宇井和夫氏を会長に指名した。 また同条第3項により、宇井会長が鎌形廣行氏を副会長に指名した。 市長、公務により退席。</p> <p>(2) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業計画(素案)及び策定スケジュールについて 資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。</p>

会 議 内 容

《会長》

御質問、御意見等ありましたらお願いします。

《委員》

この素案は、匝瑳市が一から作成したものか、それとも日本版CCRCとして既に鴨川市なども取り組んでいると思うが、そこから流用したものなのか。地域の課題などはどの市町村にも当てはまるものと思うが、それは匝瑳市オリジナルのものなのか。

《事務局》

ひな形的なものを流用したものではなく、地域の現状や活用可能な地域資源等について検討した、匝瑳市ならではの計画と御理解いただきたい。

《委員》

計画中では「飯倉地域・飯倉台地域を対象とした地域包括ケアシステムの構築」とあるが、これは市の高齢者支援課の地域包括ケアシステムと違うものか。匝瑳市の地域包括ケアシステムの範囲は、厚生労働省から発表された生活圏ではなく、まち全域とするものと聞いており、高齢者支援課から依頼を受けて匝瑳市介護保険事業者連絡会を立ち上げているが、それとはまた別の包括ケアを行うのか。

《事務局》

同一のものと考えている。

《会長》

私からも確認したい。この形成事業計画は、既に策定済みの地域再生計画に基づいて策定ということであるから、地域再生計画で設定した対象区域に基づいて、本計画中では飯倉地域・飯倉台地域を設定しているという理解でよろしいか。

《事務局》

そのとおりである。

《委員》

3 ページの市の人口について、平成7年の人口43,357人は、旧八日市場市の人口でよろしいか。

《事務局》

旧八日市場市と旧野栄町の合計である。

《委員》

1 ページ目「同法人の関連法人が幼保連携型認定こども園を設置・運営し」について、前身のあかし幼稚園の頃は関連法人が運営していた時期があるが、現在は当法人が直営している。また、5 ページの施設の数について、介護老人保健施設数は2施設で、介護老人福祉施設数は4施設ではないか。後で確認願いたい。

18 ページのサービス付き高齢者向け住宅の基準について、「入居を希望しているにもかかわらず、入居することができないような事態が発生しないこと」とあるが、はっきり言い切ってしまうよりも、「～に努める」などの表現

会 議 内 容

にさせていただいた方がよいのではないか。

《会長》

事務局には文章と内容、数字の確認と精査をお願いする。

《委員》

「本市の西部の市民は生涯学習への参加が不便」という課題があげられている。それも確かだと思うが、飯倉台地域の特徴として、家族代々で構成する地域ではなく、市外や市内の他地域から移住してきた地域であることから、社会活動や学習活動への参加意欲は未だにかなり低いと考える。今後大きな課題となり得ると考えられるため、計画においても地域の課題として考慮していただきたい。

《事務局》

今の御意見は、飯倉台地域は新しい地域であるがゆえに繋がり等が弱く、社会活動の意欲や機会の醸成が十分でない面があるので、地域との融合のためにはそうした機運を醸成することが必要だということによろしいか。

《委員》

そのとおりである。

《事務局》

御意見をもとに、内容を整理したい。

《副会長》

生活支援サービスに関連して、社会福祉協議会で取り組んでいる買い物支援サービスについてお話ししたい。

社会福祉協議会では各地区の社会福祉協議会とタイアップして支え合い・助け合いの市全体の協議会が出来ており、講演会やイベントを実施している。

買い物支援サービスについては各地区でモデル的に実施しているところだが、現在2地区において、買い物支援や電球の交換など、地区で支援や助け合いをしようという組織が出来つつある。

ある地区では、この11月に旭中央病院の医師を招いて講演会を実施したり、落語家をお招きしての立ち上げのイベントを実施すると聞いている。こうした動きを社会福祉協議会や高齢者支援課で支援している。

匝瑳市の地域包括ケアシステムは市全体を一つの圏域としている。構築に当たっては支え合い・助け合い事業をベースとしながら進めていきたい。

《委員》

当シルバー人材センターは会員数が250人くらいで、平均年齢73歳、就業率が90%ほどである。働く高齢者が高齢者を支えるという場面も多いので、少しでも福祉の役に立てればよいと思う。シニアクラブなどの生涯活動やボランティアなどの活動とマッチしながら取り組みを進めていくと良いと考える。

《委員》

九十九里ホームが主体となり、高齢の方を市に呼び込んで人口を増やすという考え方はわかるが、それを支える若者世代をどうするのかという点につい

会 議 内 容

て、市はどうお考えか。

「要介護状態に必ずなる」という前提で九十九里ホームがお引き受けいただいても、今でさえ福祉業界は求人を出しても人が集まらない。人材不足が深刻化しており、外国人に頼らざるを得ない時代である。匝瑳市として「集めました、あとは法人にお願いします。」ではまちづくりとは言えない。若者を呼ぶという考えはないのか。

《事務局》

若者世代ということで、匝瑳市では子育て支援にも様々な面で力を入れている。本計画は高齢者向け計画だが、子育て支援にも力を入れて、同時に進めていく。

《委員》

ぜひ考えていただきたいのは、若者を呼んでも、必ずしも福祉の道には来ないということである。今の状況では働き手はいないという状況を考えていただきたい。今のままでは介護事業者が消えていき、九十九里ホームにどんどんその分の負担が回っていく状況になることが懸念される。

母体が小さい法人は人材不足に耐えられない。社長自らが現場に出なければならぬ現状である。市からの指導が入り、管理職が働ける日数等は細かく決められているが、現状では管理者は24時間365日休みがないのが介護施設の実態である。その点を考慮していただきたい。

《委員》

委員の意見はもっともだと思う。関連することをお話ししたい。地元には色々な企業がある。地元の企業、特に他業種の方々に声掛けして、明日、ふれあいセンターを会場として雇用促進協議会の立ち上げを行う予定である。太陽社の片岡さんが一生懸命やってくれている。

今まで匝瑳市には雇用促進協議会がなかったが、八日市場瓦斯さんや鈴久建設さんなど地元企業10社ぐらいで立ち上げ、地元にもこういう企業があるよ、ぜひ地元にと働きかけたい。どんどん人が市外に行く、都市部に若い人が行ってしまおうという状況が耐えられない。その一方で、昔からやっていた商店が閉まっている。

商工会の大塚さんもお越しですが、商工会の加入事業者数も人口と一緒に減少傾向にあり、このままではどうしようもないと思っている。自分のできる範囲でだが、少しでも何とかしたいと考えている。どこまでできるかわからないが、協議会のようなものを立ち上げ、地元にも働く場があるということをもっとPRしていきたい。

《会長》

頂いた様々な御意見について、計画に織り込めるものは調整していきたい。

《副会長》

高齢化社会を見据えた中で九十九里ホームが様々な施設を整備するのは、先見の明があると感じる。

事業地周辺である飯倉台の地図を見ていて思い出したことがある。何十年も

会 議 内 容

前だが、土地区画整理にあたり、役所を退職した方から土地区画整理の事務をやることになったんだという話を聞いたことを思い出した。そのことを思い出すと、是非このまちづくりを成功させたいと思っている。

《会長》

他に御意見等ございますか。本日の資料5は素案ということで御提示したものであり、内容については今後精査する必要がある。各委員から頂戴した意見を踏まえ、文章としての整理、用語としての整理、引用されている数値・データ等の整理を含め、事務局で整理し、次回の中で御提示と御協議をお願いしたい。御不明な点がありましたら、随時事務局までお寄せいただきたい。

(3) その他

《会長》

委員の皆様から何かございますか。

《委員》

この計画について、自治会の皆さんと相談してもよいか。

《事務局》

地元を持ち帰ってお話ししていただいて構わない。

《委員》

今後地元の皆さんに、サービス付き高齢者向け住宅の住民説明会を行う予定である。豊栄地区と須賀地区を対象として、私どもの立場として地元の皆様に御説明したいと考えている。日取り等が決まりましたら、御案内差し上げたい。

《会長》

事務局から何かありますか。

《事務局》

市では、情報提供の一環として、審議会等の議事録を市ホームページで公開しています。つきましては、本日の会議の議事録等についても、発言者をマスクして市ホームページで公開する予定ですので、よろしく願いいたします。

以 上